日本共産党 和歌山市会議員
ひめだ高宏ニュース
NO.1357
'21.9.21

9月定例市議会報告

9月21日(火)議案審査の常任委員会が終わりました。議案に対する態度については、次号で報告する予定です。今号は、私以外の日本共産党市議団の一般質問について報告します。

西庄の太陽光発電事業

9月9日(木)日本共産党の坂口好美子市議は、旭メガソーラー西庄発電事業について一般質問。同計画地は、1993年に分譲住宅の開発許可と宅地造成に関する工事を申請して造成工事を始めたものの完成していません。坂口議員は、事業者が提出した航空写真や現地調査をもとに3つの深い谷を埋めた造成地の盛土が崩壊している状況を指摘し、宅地造成を中止して太陽光発電事業へ変更する際に必要な手続きや安全性の確保について、市の考えを質しました。

坂口議員は、生活保護で

水軒川右岸の浸水対策

9月9日(木)日本共産党の中村あさと市議は、水軒川右岸の浸水対策について一般質問。水軒川の沿線に8基のポンプを設置しているが、排水が追い付わず、道路の冠水や床下浸水が度々起きており、公共下水道区域となっているにも関わらず具体的な整備計画が講じられていないことから、公共下水道整備の進捗を図ることとあわせて、応急的な措置として雨水貯留施設の整備を求めました。

中村あさと議員は、コロの自動車保有・使用について障害などの事情を考慮する弾力的な運用を要求。

フツーの人々 〈1140〉

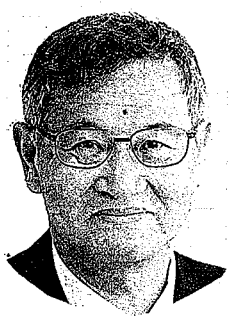
今週のフツーの人々 (その303)

顔変える手法にウンザリ

「ドングリの背比べ」と言ったら反感を思くするドングリがいるかもわかりませんが、テレビで自民党総裁選のニュースが流されているのを見るたび、候補者の顔ぶれに加えて次期首相候補に忖度するテレビ局の姿勢にウンザリします。

4人の候補者は当然と言えば当然ですが、アベ首相が期限を区切った改憲宣言を同党がまとめた自民党改憲4項目の推進を口をそろえて表明。その一方でオリパラ開催によるコロナ感染の激増や河井夫妻への1億5千万円、森友学園問題や桜を見る会、日本学術会議任命拒否問題などの失政や疑惑については、そろって黙ったままです。

中身が同じ政治を首相の顔を変えて続けさせることは許せません。衆院選でいのちと暮らし守る政権に変えましょう。



ひめだ高宏

大感染拡大により市内事業者が苦境に陥っていることを指摘し、事業者支援についての市の考えを質しました。また一次産業に対しての市の独自支援を要求。

特別障害者手当周知徹底を

9月10日（金）日本共産党の南畑さち代市議は特別障害者手当について一般質問。特別障害者手当は、精神や身体に重度の障害を有し、常時特別の介護が必要な方の負担軽減を目的に月額27350円支給する国の制度で、在宅の20歳以上が対象です。重度障害者のほかに、介護保険の要介護4、5で特別な介護が必要な方も申請可能です。南畑議員は、障害者手帳を持っていない要介護者に対して、その現状を質し、制度の周知徹底を求めました。

南畑議員は、新しく整備された市駅前広場が誘導ブロックの不備などで視覚障害者に使い勝手が悪い点を指摘し改善を求めました。

IR・知事の暴走止めよ

9月10日（金）日本共産党の森下さち子市議は、IRについて一般質問。高位だった事業者が撤退し県は残ったクレアベストを優先権者に選定。県議会全員協議会や県担当者による市で開かれた説明会で、県は自らが負う責任分担の範囲や交通アクセスについて区域整備計画案に記載すると答えたことに関し市はどう考えているかと質問。470億円の投資額や集客数の根拠、運営企業募集要項の内容、雇用効果、MICEのあり方などが現時点ではとんど説明できない状況で4か月後に市に同意を求めるなど問題だと批判し、市長に知事の暴走を止めるよう要求しました。

介護が必要な方の災害避難できず

9月13日（月）日本共産党の井本有一市議は、避難所対策について一般質問。8月17日の大雨で、10地区に対して高齢者等避難が出され、14世帯18人が避難。井本議員は、高齢で介助が必要な方が、自宅にいるのに危険を感じ、連絡所に避難したものの、横になるのに介助をしてもらうことができず、結局迎えてきもらった介護事業所に迎えに来てもらって帰宅しなければならなくなったことに関し、地域防災計画で定められている福祉避難所の開設に至らなかったのはなぜかと、市の対応を質問。

井本議員は、水路への転落防止安全対策について、危険個所の改善を要求。

こんにちは日本共産党です

休業手当等支援を確実に

コロナ危機による経済の落ち込みが非正規雇用の労働者を直撃しています。解雇、雇い止めのほか、休業させた非正規労働者に手当を払わない不当な行為が横行しています。雇い主の都合で労働者を休業させた場合、正規、非正規を問わず休業手当を支払うことが義務付けられています。休業支援金は、コロナ危機で休業させられたのに休業手当を得られない労働者が対象です。しかし、労働政策研究・研修機構の調査によると21年1～2月に休業や時短があった非正規労働者のうち賃金、休業手当、国のコロナ対応休業支援金の「いずれももらっていない」と答えた人が46%に上ります。政府は休業手当をきちんと支払うよう企業に指導する必要があります。また支援が確実に届くよう改善が求められます。

「ワトソン力」

主人公は優れた洞察力も推理力も無い警視庁捜査一課の和戸宋志という刑事。彼の行く先々で事件が起こり、彼の周りにいた人々の推理によって事件が解決。検挙率10割の結果を残しています。和戸には、そばに居合わせた人間の推理力を飛躍的に向上させる特殊能力が備わっているようで、彼がひそかに名付けた「ワトソン力」を発揮した7つとのミステリー。

大山誠一郎著
光文社